



開校明治七年
開校150周年

大和田小だより

学校教育目標

かしこく やさしく がんばる子

地域と伝統に支えられ、本年度開校150周年を迎えました。

めざす学校像

子供の自己有用感を実感させ、主体的・協働的な学びを実践する学校
～すべての子を大和田小の光に～

11月号 令和6年10月31日
新座市立大和田小学校
児童数 746名・学級数 27学級

11・12月の生活目標

あたたかい
言葉をつかおう

- ・自分が言われたら
うれしい言葉
- ・友だちを思いやり、
はげます言葉

霜月 一番星のように輝け！

校長 近藤 章宏

暑さも過ぎ去り、さわやかな空気の下に運動会を実施することができました。本年度のスローガンは、「一番星のように輝け！150周年の大和田の力」と、本校の長い歴史と伝統をふまえて児童会が提案してくれました。子供たちの一番星のような輝きをお伝えしたいと思います。

1年生（おばけパーティへようこそ！）

キラキラと光る大きなポンポンを持って腕を大きく回したり、可愛らしく振ったりしています。ダンスの曲が始まると、かわいらしいおばけたちが手足をすばやく動かしながら、左右に大きくゆれる姿がおばけの動きを上手に表現できていました。



2年生（笑顔でジャンプ）

ダンスのタイトルどおり、ジャンプジャンプの連続です。腕を上下・左右にふりあげて、かわいらしさと共に、撥ね上がるような躍動感を表現できていました。フィナーレにクラスごとの挨拶をしてからの満面の笑顔での退場は、見ている人たちも笑顔にしてくれていました。



3年生（おなかいっぱい笑っちゃお）

軽快な音楽にのってペットボトルを打ち鳴らす音がとてもリズムカルでした。曲が次々と変わるたびに腕の動きに特徴があったり、足の動かし方が面白かったりと印象が変わりました。第二中学校の吹奏楽部の生徒が生演奏で応援してくれていました。



4年生（大和田ソーラン）

太鼓の勇ましい響きに合わせた入場に、表現をやり抜こうとする力強さを感じました。「ロックソーラン節」の元気で迫力のあるリズムにあわせて、力強く踊ることができました。かけ声とともに拳を突き上げ、しっかりと腰を落とし、上下の動きがダイナミックで、漁船の荒々しい動きが感じられました。



5年生（晴れのち笑顔）

前半は軽やかな曲にのって学年全体で連続性のある動きがとても見事でした。後半はクラスごとに異なった創作ダンスパートがありました。皆で一緒に考えて、回転したり、手足を素早く動かしたりして、どのクラスもリズムカルな動きを工夫して表現できていました。



6年生（想いをこめて）

前半は赤と青の二色の旗を一齐に横に払ったり、時間差で旗をさばいたりする動きがとても鮮やかでした。また集団でプロペラのように回転する動きは、列が乱れず息があっていました。後半は一転して、組体操を取り入れ、起き上がる三段ピラミッドなどの力強い動きは体育の表現としてのお手本を見せてくれました。



150年の本校の歴史の中で運動会も行われてきました。昔は運動会の日、女の子はわざわざ袴を着けて登校していたことが100周年記念誌に書かれていました。それだけ晴れがましい日だったということなのでしょう。逆に70年前の戦争の時期は運動会もできなかった時期もあったかもしれません。学校で過ごし、運動会ができることの大切さを感じて欲しいと思います。

150周年の沿革（5）

今から25年前、市内の学校は次々と耐震補強に合わせた大規模改修を実施していました。本校も耐震診断を実施しましたが、昭和38年に建てられた鉄筋コンクリートの校舎は、どのように補強しても耐震基準に合わない結果から、全面建て替えが決定されました。平成12年から2年間をかけた建て替えの期間は、校庭にプレハブの仮設校舎を作り、体育の授業は今の新座小学校の校庭を借りて移動体育授業を行うなど相当の苦労がありました。そして平成14年1月に現在の校舎が完成しました。

